

中長期の庁舎整備計画策定が必要では

答 弁
タスクフォースによる
新方針検討する

やました
つよし
山 下 毅 議員
能美保守の会



Q 庁舎機能分散を踏まえた上で根上・寺井地区での公平で利便性の高い行政サービス確保に向けた、具体的な方針・施策について問う

業務の再構築に向けた調査・結果を基に、新たな方向性が見えてくることを期待している。既存施設を優先的に活用する方針は堅持しつつ、来庁頻度や老朽化を踏まえ、組織再編や改修を議会の協力も得た上で進める。

A 根上サービスセンターは根上総合文化会館へ移転し、開館日に合わせ土日も窓口を開設し、利便性とサービス向上を図る。アクセスも良く市内全域からの利用を想定している。デジタル技術を活用した簡単・便利な手続きを可能にするデジタル市民ファーストを推進し、市民満足度向上を目指す。



▲本庁舎防災・機能強化施設イメージ図

Q 庁舎の中長期的整備計画の必要性について問う

A 今年度、行財政改革タスクフォースが行う市役所

こんな質問も

・保健師および管理栄養士の人材確保と育成



浜小学校にスクールバス導入を

答 弁
学校在り方検討会で
通学を調査する

なかの
ひろし
中野 廣志 議員
能美保守の会



Q 浜小学校の遠距離の町内会に、スクールバスでの通学、またはのみバスを利用した通学の導入を

が発生すること。5点目は、複数台のバスの調達費や外部委託する際の委託費、毎年の維持管理費等、財源が厳しいこと。今後は学校の在り方検討委員会で、スクールバスの他、公共ライドシェアノルノミの導入も検討しながら通学を調査する。

A 通学時の安全・安心の確保は大変重要であり、又保護者の送迎に係る負担が年々増加していることも承知している。これまで通学支援の検討を行ってきたが、様々な課題がある。

1点目は、運転手不足。2点目は、通学時間帯の集中による運行ダイヤの編成の難しさ。3点目は、市内には同様な遠距離の町会・町内会は10町以上あり対象児童数が想定以上に多いこと。4点目は、町会・町内会単位での判断、または各世帯の距離で判断すると様々な不公平感



▲朝の浜小学校の児童通学

こんな質問も

・屋内施設が必要
・こども園の入園
・市立病院の予約



「ノルノミ」運行拡大の見通しは

答 弁
課題を克服し、
順次運行拡大へ

なかむら
じゅんこ
中村 純子 議員
能美保守の会



Q モデル地区のノルノミの実証運行の期間と市内全域での運行拡大など、今後の展開は

確保や財源の問題など、公共ライドシェアが自立して採算性を確保するスキームの構築が急務である。今後は、のみバスとノルノミの運行形態やコストバランスについて適時適切に判断をし、順次市内の交通空白地へ拡大していきたい。

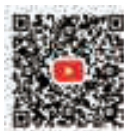
A 利用者が想定を下回っており、再度地元説明会等で周知する。まずは一度乗車いただくことで、その利便性を実感してもらうため、6月2日から6月20日までの期間、乗車料金を無料とするノルノミ乗車体験キャンペーンを実施している。当面モデル地区での運行を実施し、事業が軌道に乗り、効果が確認をできた上で辰口地区の宮竹小学校校下周辺の交通空白地へ運行を拡大していく予定であるが、エリア拡大に向けて克服すべき課題もある。事業の運行を支える市民ドライバーの



▲「ノルノミ」出発式の様子

こんな質問も

・能美トチポ
・つなぐ号
・人間ドック



各種団体維持へチームを作れ

答 弁
関係者の意向を確認し
検討する

いの
しゅうぞう
卯野 修二 議員
能美保守の会



Q 地域活動の中心的役割を果たしている壮年団、女性会の組織数及び人数を問う

A 課題や組織の存在意義の考え方は町会・町内会で異なる実情もあるが、今後も、各種団体のみならず、町会長、町内会長、公民館長など、関係者との意見交換を継続し、意向を確認しながら検討していく。

A 連合壮年団は平成30年度は52団体、2237名だったが、令和7年度は38団体、1223名で1014名減少している。女性団体協議会は平成30年度は54団体、1921名だったが、令和7年度は32団体、872名で、1049名の減少となっている。

Q 会員の減少が危惧されるなか、組織力維持のために、各種団体の経験者・町会・町内会・有識者などに集まっていただき、一時的に組織されるチーム（タスクフォース）を設立せよ



▲寺井校下壮年団の和田山清掃

こんな質問も

・能美市の観光振興について



消防火災対策について問う

答 弁 消火技能の向上と強化に取り組む

ひがし まさゆき
東 正幸 議員
能美保守の会



Q 全国的な消防団員の減少傾向の要因は何かを問う

A 高齢化により退団者が増加している一方、将来を担う若者層が家庭やプライベートを優先する傾向にあることや本業の多忙化、活動負担が大きいことが要因と捉えている。負担軽減や効率化について検討し団員の確保に取り組む。

Q 自衛消防団組織の現状と課題、募集方法と関係機関との連携について問う

A 自衛消防団の活動環境の改善を目指し消防ポンプ格納庫を補助対象に追加すると同時に、団員不足の解消と士気高揚を応援している。昨年、意見交換会を開催し高齢化や消火



▲自衛消防訓練の様子



中山間地域の人口減少対策を問う

答 弁 里山の魅力を発信、移住の促進を

みなみやま しゅうち
南山 修一 議員
流和のみ



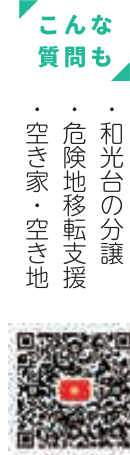
Q 市域の約半分を占め、様々な公益的機能を有す、中山間地域の保全と良好な集落コミュニティの持続は、市民と行政の共同作業であり、この地の人口減少対策にどのような取り組みのか

A 里山暮らしの魅力を地元をはじめ全国の方に広く発信をするため、自然環境や暮らしやすさのお人柄などを紹介した動画やパンフレット等を作成し能美市公式YouTubeで公開するとともに、都市部などで開催される各種移住セミナー等で活用している。

東部地区では、地元7町会の住民が主体となって策定をした「東能七郷ななさとビジョン」に基づき、コミュニティ活動の



▲開発が待たれるサイエンスパークの住宅用地



記念ウォーキング事業の内容は

答 弁 スタンプラリーイベントを予定

いまお じゅんじ
今尾 晃司 議員
流和のみ



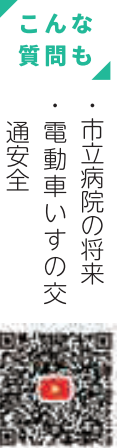
Q 健康ロードの安全上懸念される課題の対応を問う

A 県公安委員会が本年秋までに、倉重町地内の倉重墓苑近くの交差点及び岩内町地内の岩内交差点に、新たな横断歩道を整備する予定である。また生活上の車両が通行し、特に歩行者の交通量が多い辰口保育園前の区間では、宮竹用水に歩道橋を設置し、新たな歩道を整備することで安全を確保した。

シナモールグッズなどがもらえる抽選に応募できる。実施期間は、健康ロード完成記念式典が行われる日から、約2か月間とする予定である。初日は旧辰口温泉駅周辺でにぎわいを創出する企画を検討している。



▲辰口保育園前区間に整備された歩道橋



保育サポーターの導入を

答 弁 委託内容の見直しを行う

たなか さへじろう
田中 策次郎 議員
絆



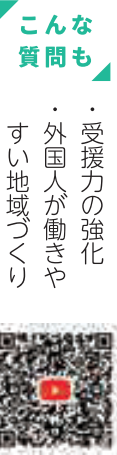
Q 保育士の仕事の軽減と多くの大人がゆとりをもつて見守り、園児をのびのびと育てる環境づくりのために「乳幼児の保育、見守り」「美化に関する業務」などを地域の方々を協力者とする保育サポーターを取り入れられないか

A 公立認定こども園では、朝の園児受入れや昼食など多忙な時間帯には、短時間勤務の会計年度任用職員が保育補助者として、保育の準備や見守り、配膳や食事介助など補助業務をサポートしている。地域の方々には、園での農園作業や和太鼓、丸いも苗植え体験など、多くの協力をいただいている。

敷地全体の草刈りは専門の業者に委託しており、現在委託先のシルバー人材センターによる清掃業務に、日々の除草作業を追加するなど、委託内容の見直しを行う。今後も地域の協力を得ながら、質の高い保育を目指すとともに、保育士の働きやすい環境づくりに取り組む。



▲認定こども園に地域のサポートを



「はまなすの丘」を 存続させよ

答 弁
病院に併設し
一体的に運営する

近藤 啓子 議員
日本共産党



Q 来年3月で通所サービス
を廃止するとしている
が、在宅療養を支える通所サ
ービスは、困難があっても継続す
べきでないか

A 市内には18か所の通所
サービスがある。利用率
は約70%であることから、余力
はあり、通所利用者の50人分は
確保できると考えている。

Q 市立病院への併設で、入
所ベッドは74床から29床
に縮小される。当面は一般会計
からの繰り入れを含め、継続を検
討すべきでないか

A 病院との一体的運営によ
り、経営改善を図る。医
療・介護職員の集約で病院をフ
ル稼働させることや、老朽化し

Q 事業を縮小し経営を改善
しても市民サービスは低
下するのではないか

A 利用者には不便をかけな
いよう対応する。

た施設改修費の削減ができる。



▲統廃合が予定されている「はまなすの丘」

こんな
質問も

- ・地震被害対策
- ・自衛隊員を守れ



第3次能美市総合 計画と行財政改革

答 弁
安定した財政基盤の
確立を示す

澤田 貞 議員
清風



Q 新規補正の重点事業が、
策定される能美市総合計
画にどう反映されるのか

A いずれの事業も今後の能
美市の将来展望を描くた
めに大変重要な事業であり、市
民ニーズを的確に捉え、総合計
画の取組を深化させていく。

Q 立地適正化計画の策定が
総合計画の適正な土地利
用に対応できるのか

A 総合計画の策定完了が立
地適正化計画より先とな
るが、2つの計画が一体的かつ
相互に補完し合うものとなるよ
う配慮する。

Q 行財政改革推進検討事業
の実施に当たり、先行す
る大型投資事業を含め、健全な
財政運営が図られるか

A 多様化する市民ニーズに
対し質の高い行政サービ
スを提供し続けるためには、全
庁挙げての行財政改革が急務で
あり、新たなタスクフォースの
下、全庁業務量調査の内容を検
証し財政基盤の確立に取組む。



▲立地適正化計画のイメージ図

こんな
質問も

- ・地域防災計画
- ・地域共生交流館
- ・学校教育の充実



能美電車両の 無人店舗化について

答 弁
持続性、満足度の
高い店舗とする

北村 周士 議員
能美保守の会



Q 取り扱う品目やサービス
の内容は

A 通勤通学者向けの軽食や
飲み物、周辺住民向けの
日用品や、観光客向けには特産
品等の販売を想定している。

Q 車両を資料として保存し
つつ活用できるのか

A 歴史的価値を重視して、
車両の外観や内装は可能
な限り原型をとどめることを前
提に改修を行う。

Q 車両移転後の現「のみで
ん広場」の活用策は

A 健康ロードのリニューアル
オープンに向け、北陸
鉄道能美線で活躍をしていた貨
物車両ED201を譲り受け



▲能美根上駅前に移設される能美電車両

こんな
質問も

- ・（仮称）能美丘
陸地開発計画



庁舎に飲食施設・ 設備を整備せよ

答 弁
必要に応じて適切に
判断する

仙台 謙二 議員
公明党



Q 本庁舎北側の新棟建設に
合わせて駐車場も拡充さ
れるが、教育委員会が新棟へ移
転されることから利用者数の増
加が予想される。駐車場のさら
なる拡充が必要ではないか

A 現時点で、飲食施設を整
備する予定はない。必要
性が生じた場合は、事業の必要
性と目的に沿ったふさわしい場
所が提供できるか、適切に判断
する。

A 辰口運動公園東駐車場を
現在の8台から50台規模
に拡充し、市民の安全・安心確
保に向けた防災・減災対策を講
じる。また、防災・機能強化施
設建設に伴い、本庁舎北側駐車
場を現在の52台から60台分に再
整備する。現時点で新たな駐車
スペースの拡充の予定はない。

Q 施設利用の利便性向上
に、軽・昼食などの飲食
が可能な施設設備が必要ではな
いか



▲本庁舎防災・機能強化施設イメージ図

こんな
質問も

- ・市長のビジョン
- ・行財政改革
- ・学校教育（英語）



議会報告会ダイジェスト③

昨年11月に開催した議会報告会「能美市議会20年の歩み」のダイジェスト3回目です。

●市議会 20 年の歩み ・全国の議会からも注目

議会広報の充実、市民との意見交換会、議会のDX化、議員間討議の導入等、議会改革の取り組みが評価され、行政視察の申込が近年増えています。

議会に関する行政視察の申込件数の増加数

平成25年4月～令和5年2月

令和5年3月～令和7年7月

行政視察件数 **2件** → 行政視察件数 **15件**



沖縄県南城市から行政視察が
(令和7年7月8日)

・20 年の変化

議員定数の削減

合併当初 **47人** → 平成17年 **22人** → 平成21年 **18人** → 令和2年 **16人**

議員年金の廃止

議員年金は平成23年6月1日に**廃止**となり、議員は基本的には国民年金に加入することになりました。

議員報酬

月額 **37万円** (合併当初より**増減無し**)

※令和7年6月定例会で議員報酬の増額が議決されています。

議会報告会アンケート結果

- ・議会報告会に参加して、議会の取り組みをもっと市民に知ってもらいたいと思った。
- ・市民との意見交換会は大変良い活動だと思うので継続して欲しい。
- ・議会だよりのリニューアルでとても工夫されていることが分かった。今後も目を引く紙面、読んでみたいと思う紙面作りに期待する。

●さらなる開かれた議会、信頼される議会へ！

- ・市民の代表として、説明責任を果たせる能力を備えるべく資質の向上を
- ・議員間討議で意見を出し合うだけでなく、さらに論点を整理し、深掘りすることで、**議案の修正**や**議員からの提案**ができるような姿へ
- ・議員個々人の活動を、**議会として強い意思**の表明へ
- ・多様な世代、属性、職域等から**目指したい議員**へ
- ・地域の多様な要望、目標を達成するために、**より近しい、親しみやすい議会**へ

3回にわたって掲載した、議会報告会「能美市議会20年の歩み」のダイジェストは今回で終了します。ご意見・ご感想は裏表紙のQRコードより投稿できますので皆様からの投稿お待ちしております。



市内における 空き家対策を問う

答弁

地域の生活環境の 保全に努める

Q 市内の空き家等の現状と予測について問う

A 空き家数は、平成30年時点で467戸、令和4年には773戸、令和6年には955戸と増加している。地方への移住ニーズや多様な働き方の広がりを背景に、空き家バンクへの関心は引き続き高まると見込んでいる。

Q 市内における空き家等対策の課題を問う

A 空き家数の増加に対し、空き家バンクの登録が16戸にとどまっており、利活用が進んでいないことが課題である。

Q 遠隔地からのVR内見を導入できないか

こんな質問も

・学校部活動地域移行



▲今後も増加予測の市内の空き家

A 視覚的に分かりやすい情報提供の仕組みは、空き家の利活用促進にも効果的であると考えている。所有者との調整や費用負担などの課題も想定されることから、実現可能な手法を模索する。

荒井 昌宏
能美保守の会 議員



デジタル技術を活用し 持続可能な生活を

総務産業常任委員会

オンライン診療とスマート物流サービスについて



福井県敦賀市での行政視察の様子

所感

恵那市での視察から、住民へのオンライン診療の周知の重要性を痛感した。能美市でもコミュニティサポーター、社会福祉協議会を通じて実証実験が始まったことを知らせていくべきと感じた。
敦賀市のスマート物流サービスでは能美市と同様に利用件数の伸び悩みという課題があった。能美市としても対象地域でのアンケートを再度実施して需要の把握が重要であると実感した。

当委員会では本年「デジタル公民館活用」を所管事務調査として取り組んでおり、先進的にオンライン診療とスマート物流サービスに取り組んでいる岐阜県恵那市と福井県敦賀市の2つの自治体の行政視察を行いました。
(視察日 令和7年5月19日～20日)



報告書の全文は市議会ホームページでご覧いただけます。

今回は行政視察の内容をお伝えします。現状や課題を調査研究し、市への提言や議会運営の強化につなげます。

委員会レポート